

令和5年度 奈良県立畝傍高等学校 第1回学校運営協議会議事録

日時 令和5年7月11日(火)

14:00~15:30

会場 本校 大会議室

1. 学校長挨拶

- ・本校の歴史について（今年が地域と歩む90年目の年＝校舎が八木町に移転して90年目）
- ・来年度からの2期制導入について
- ・留学のためのグローバル基金について

2. 委員自己紹介・事務局自己紹介

委員9名（1名欠席） 事務局5名 分掌長7名 出席者 21名

3. 会長・副会長選出

会長 前田康二先生（奈良教育大学 副学長）

副会長 大石健一（畝傍高等学校 校長）

4. 審議事項

- ①学校評価総括表について
- ②本校の学習指導、進路指導、生徒指導について
- ③研究開発学校について
- ④令和6年度教科書採択について

上記が審議され、様々な質問やご意見を頂いた結果、承認されました。

<委員より>

☆本校の学習指導、進路指導、生徒指導について

- ・校則の見直しを生徒会の意見も参考にしながら実施して頂いたことは素晴らしいと思う。今後、育友会とも連携しながら、生徒自ら考え、行動し、学んでいく姿勢を大事にしながら校則や生徒心得を考えてもらいたい。
- ・校則などを生徒自ら考え、話し合う機会を持つことができ保護者としてうれしい。今後これをきっかけとして、より高い意識を持って充実した学校生活を送れるように、生徒の考える力をつけてほしい。
- ・全日制においても、大学進学以外を希望する生徒（専門学校・就職）もいると思う。そのような生徒は、早くから進路を決めている場合も多いと思うので、手厚い進路指導をお願いしたい。
- ・高校3年間で、できるだけ多様な経験を積んで、自分の将来に繋げてほしい。特に、関

西の大学だけでなく、関東の大学にも、また、海外にも目を向けてもよいのではないのかと思う。

- ・ 進路指導計画の中で、「高い進路目標」という表現は、表現方法に工夫が必要であると思う。

☆2期制の目的についての質問に対して

- ・ 2期制は、「自分で自分の学びをデザイン」できる。高校の学習範囲を2年半で終了し、3学年後期においては、自分の進路や関心に応じて主体的に科目を選択することになる。また、前期の振り返りを後期に生かすことで学校の教育活動の点検サイクルを早めることができる。

☆その他

- ・ 橿原市役所魅力創造部に勤務しており、仕事内容が観光・環境・道路・街作り等多岐に及んでいるので、出前講座などで探究活動に少しでも協力できたらと考えている。
- ・ 金鷄会のグローバル基金を利用して、留学制度を盛り上げてほしい。
- ・ 探究の取組をはじめ、学校の様々な行事・生徒の様子をもっと保護者や地域の人々にも知ってもらう機会がほしい。広報活動も活発にしてもらいたい。
- ・ 地域の方々とも連絡を取りながら、学校・地域、お互いが協力し合えるところが出てくれば、報告させてもらう。
- ・ 奈良県南部（吉野など）の住人にとっては、北部と比べ通学できる進学校が非常に限られてくる。その点も踏まえ、今まで以上に畝傍高校の存在意義を高めるような学校運営をお願いしたい。

5. 事務局より連絡

- ・ 学校運営協議会委員報酬について
- ・ 第2回学校運営協議会は、2学期中旬開催予定

本日、説明のあった第1学年探究基礎の授業を参観して頂く。

